

2009年3月期 決算概要

2009年5月11日

NECエレクトロニクス株式会社
代表取締役社長 中島 俊雄

<http://www.necel.com/ir/ja/>

I. 2009年3月期 業績概要

- ・ 第4四半期は、半導体売上高・営業損益とも前回想定(1月29日)より悪化
- ・ 体質改善の前倒しを実行

II. 2010年3月期 業績見通し

- ・ 通期では、前年度比12%減収の見通し
- ・ 年間で900億円の固定費削減(1月29日発表時から300億円追加)を中心とした体質改善施策を加速させ、営業黒字化を目標とする

I. 2009年3月期 業績概要

＜サマリ＞

＜第4四半期＞

＜通期＞

II. 2010年3月期 業績見通し

09/3期 業績の概要

NEC

(単位:億円)

	09/3期					
	4Q			年度計		
	実績	前年同期比	前四半期比	実績	前年度比	前回 (1/29) 予想比
売上高	855	△804 -48.5%	△418 -32.8%	5,465	△1,413 -20.5%	△85
半導体売上	807	△747 -48.1%	△420 -34.2%	5,217	△1,315 -20.1%	△83
営業損益	△533	△536 -	△371 -	△684	△734 -	△134
税前提損益	△692	△625 -	△491 -	△893	△861 -	△273
当期純損益	△608	△488 -	△409 -	△826	△666 -	△176

為替レート前提

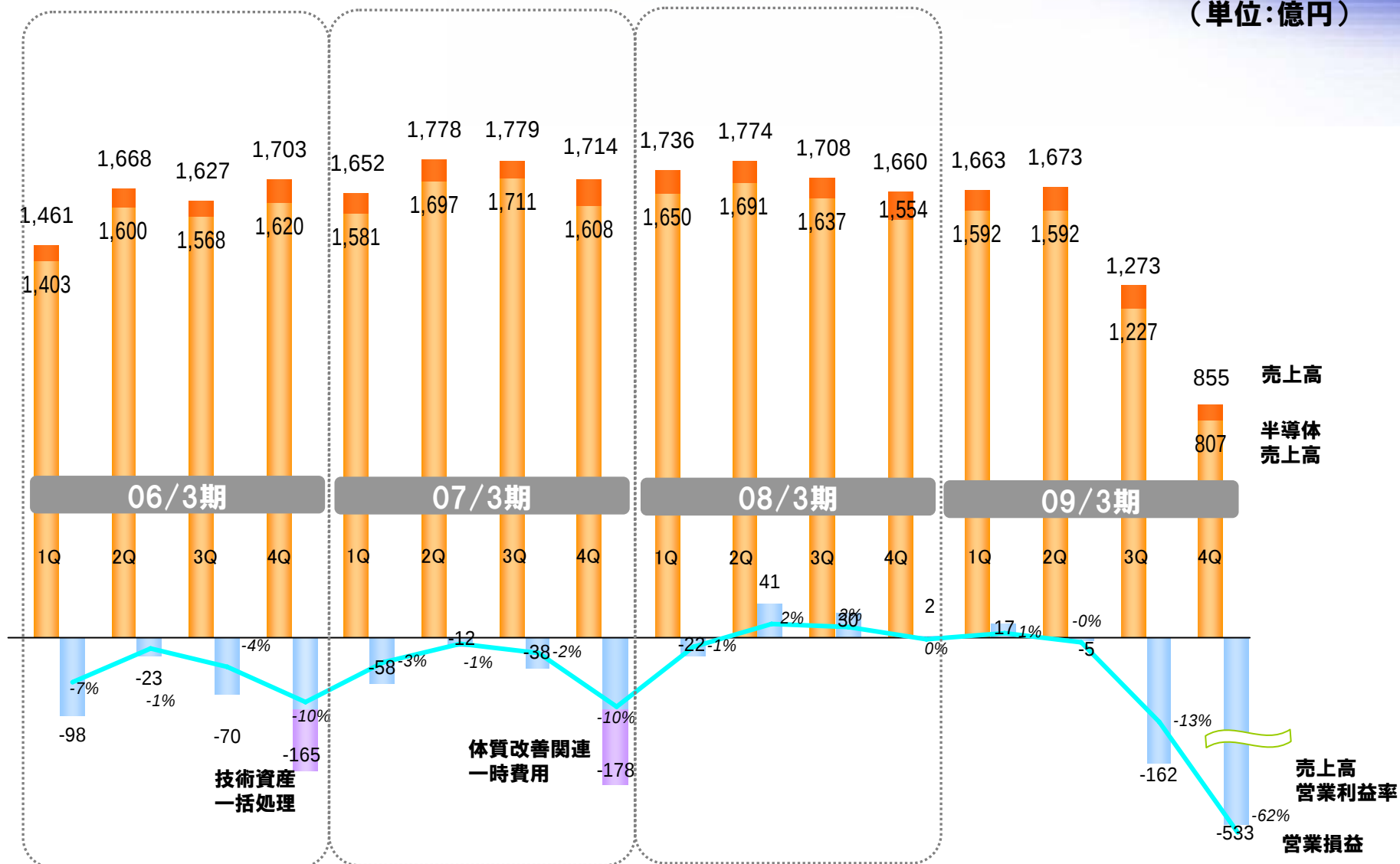
1US\$=	91円	18円高	10円高	101円	15円高	
1ユーロ=	120円	40円高	17円高	146円	15円高	

注: 当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業利益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです。

四半期別業績推移

NEC

(単位:億円)



注: 当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです。

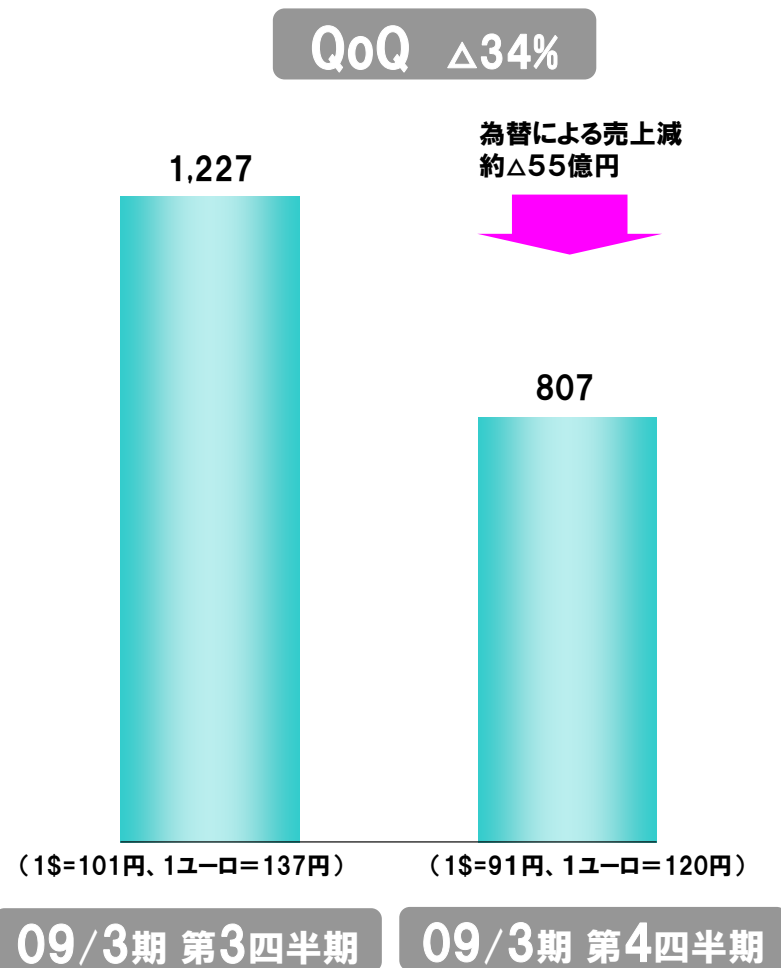
I. 2009年3月期 業績概要

＜サマリ＞ **＜第4四半期＞** ＜通期＞

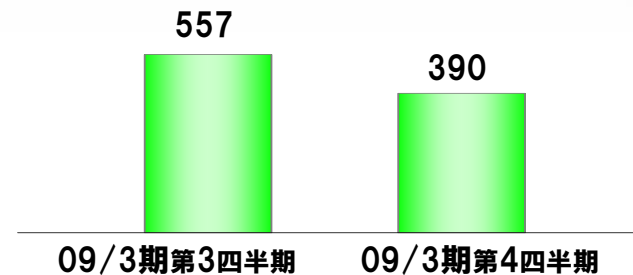
II. 2010年3月期 業績見通し

第4四半期(1-3月期) 半導体売上高(前四半期比) NEC

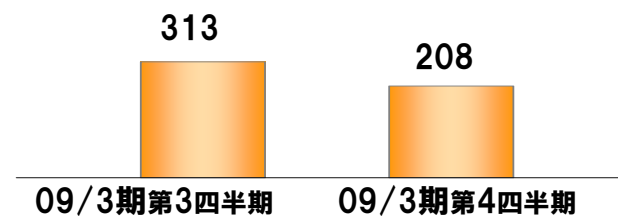
(単位:億円)



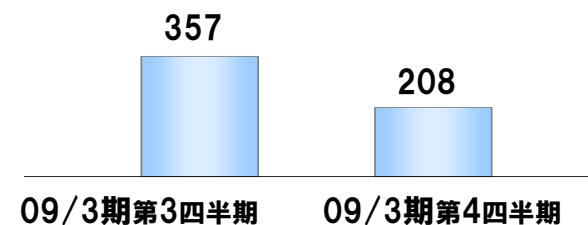
SoC $\Delta 30\%$



MCU $\Delta 33\%$



個別半導体 $\Delta 42\%$

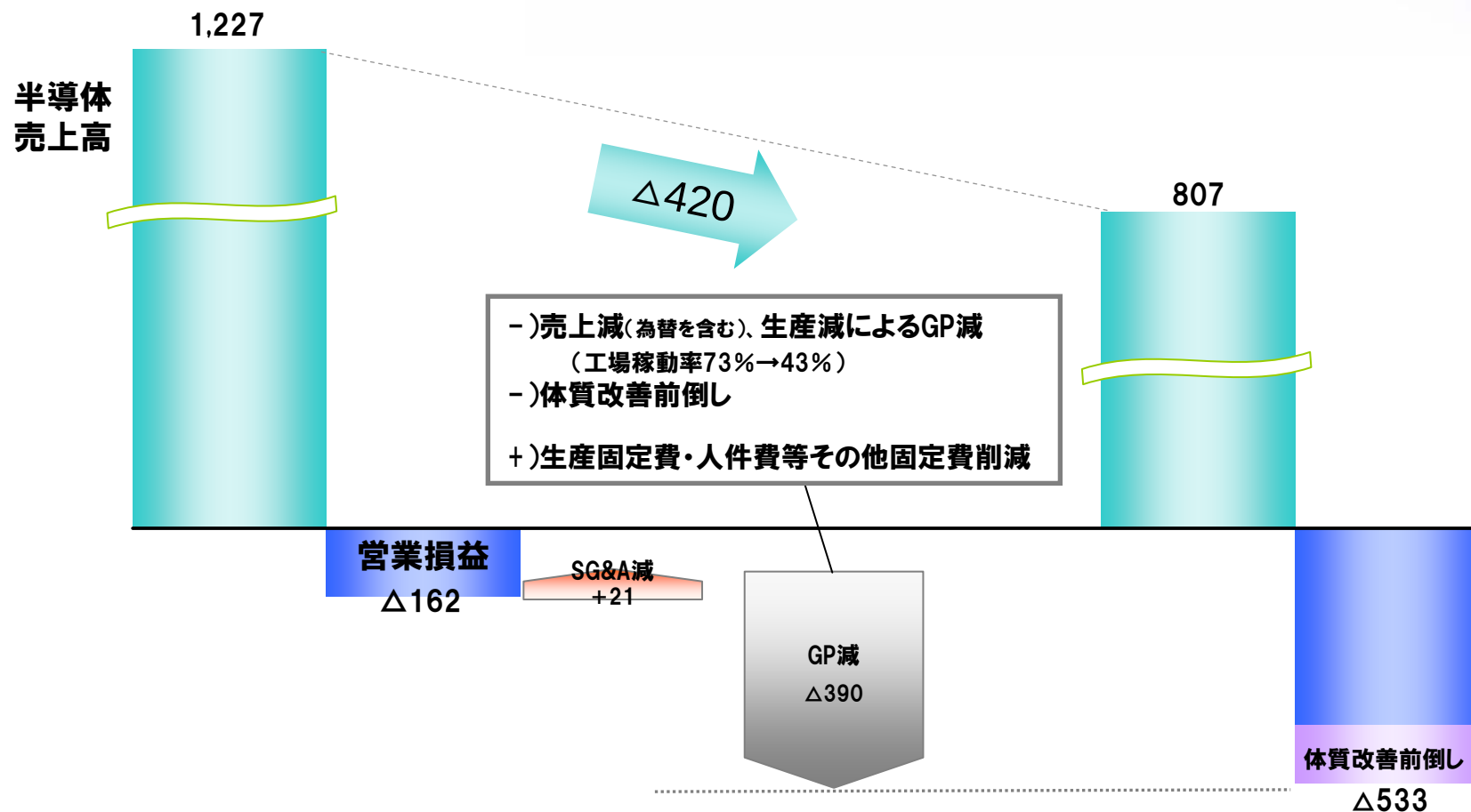


第4四半期 営業損益の主な増減要因

NEC

(単位:億円)

QoQ



(1\$=101円、1ユーロ=137円)

09/3期 第3四半期

(1\$=91円、1ユーロ=120円)

09/3期 第4四半期

注 GP: 粗利益、SG&A: 販売費および一般管理費

営業外損益・法人税等

NEC

(単位:億円)

		08/3期	09/3期		
		年間	9ヶ月累計	4Q	年間
営業外損益		△83	△51	△159 (悪化)	△210
	主な雑収益				
	主な雑損失			係争案件に関する損失引当金 生産再編関連費用	
法人税等		123	17	△78 (改善)	△61
				税制改正による繰延税金負債の一部取り崩し等	

I. 2009年3月期 業績概要

＜サマリ＞ ＜第4四半期＞ **＜通期＞**

II. 2010年3月期 業績見通し

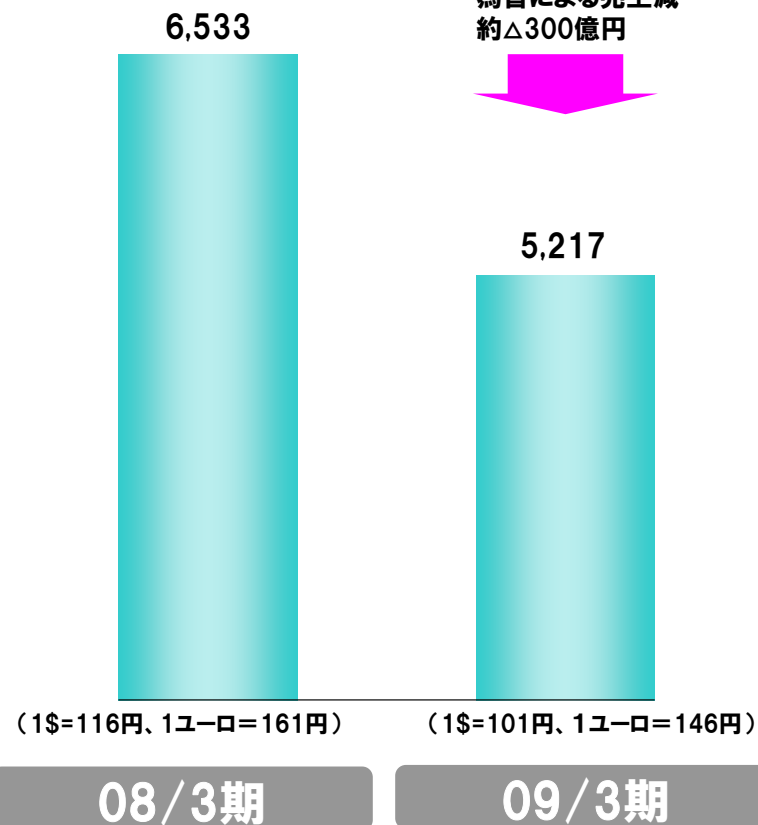
09/3期 半導体売上高推移

NEC

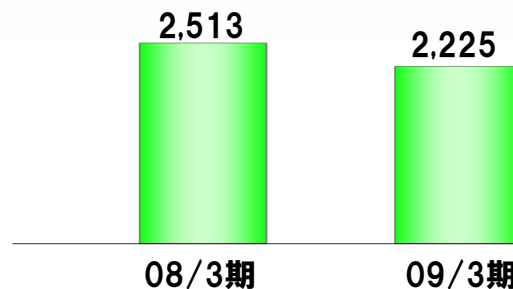
(単位:億円)

YoY $\Delta 20\%$

為替による売上減
約 $\Delta 300$ 億円



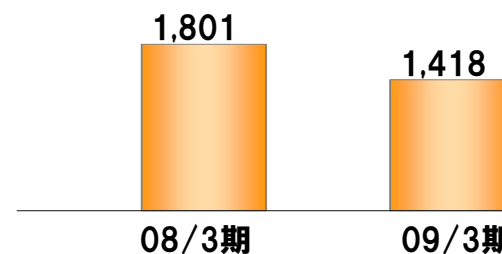
SoC $\Delta 11\%$



コメント

- ・全般的に減収
- ・ASIC製品の市場シェア上昇
- ・デジタルAV向けEMMA増収

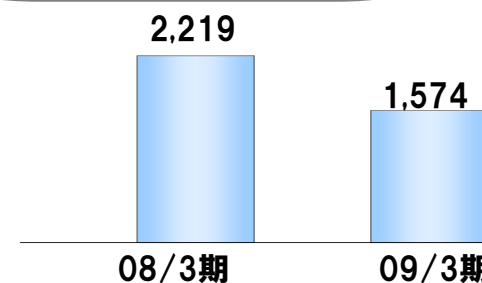
MCU $\Delta 21\%$



コメント

- ・市場縮小に伴い全般的に減収

個別半導体 $\Delta 29\%$



コメント

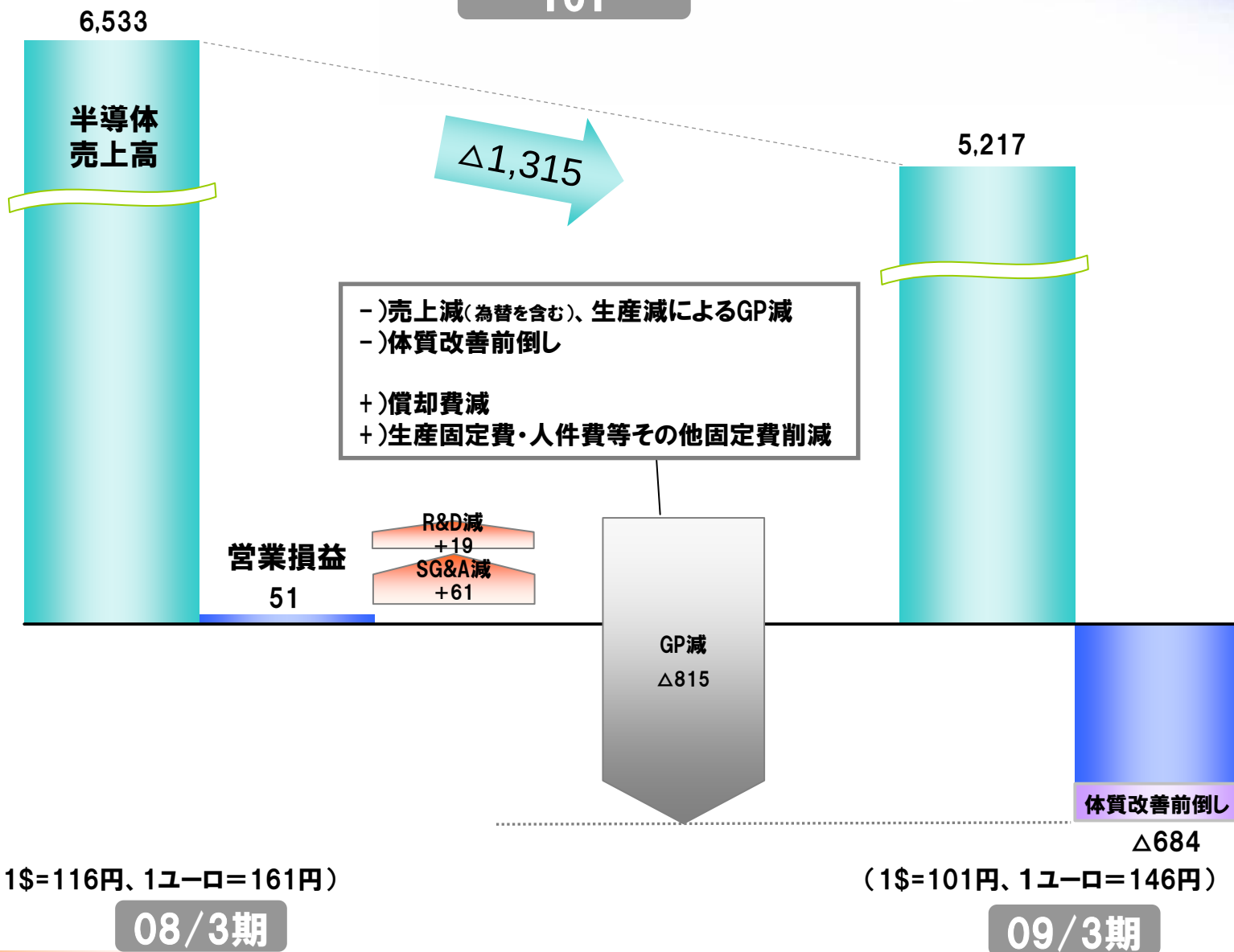
- ・全般的に減収

09/3期 営業損益の主な増減要因

NEC

(単位:億円)

YoY



バランスシート

NEC

(単位: 億円)

	08/3	08/12	09/3
現金および現金同等物	1,655	1,565	1,013
受取手形および売掛金	964	681	525
たな卸資産	758	821	632
有形固定資産	2,591	2,447	2,421
その他の資産	195	280	235
総資産	6,163	5,794	4,825
支払手形および買掛金	1,073	1,109	788
社債および借入金	1,166	1,170	1,169
その他の負債	1,601	1,494	1,547
負債	3,840	3,773	3,503
少数株主持分	52	52	41
株主資本	2,271	1,969	1,281
負債、少数株主持分および資本合計	6,163	5,794	4,825

D/Eレシオ(グロス)	0.51倍	0.59倍	0.91倍
株主資本比率	37%	34%	27%

キャッシュ・フロー

NEC

(単位：億円)

	08/3期		09/3期		
	4Q	年度計	3Q	4Q	年度計
営業活動による キャッシュ・フロー	5	433	105	△363	△69
投資活動による キャッシュ・フロー	△43	△378	△72	△187※	△493
フリー・ キャッシュ・フロー	△38	55	33	△550	△562

※主に3Q以前に納入した設備代金

I. 2009年3月期 業績概要

II. 2010年3月期 業績見通し

10/3期 業績予想

NEC

通期営業黒字化を目標とする

(単位：億円)

	10/3期					
	上期		下期		通期	
	予想	前年同期比	予想	前年同期比	予想	前期比
売上高	2,150	△1,186	2,650	+521	4,800	△665 △12.2%
半導体売上	2,050	△1,134	2,550	+516	4,600	△617 △11.8%
営業損益	△250	△262	250	+946	0	+684
税前提損益	△265	△265	190	+1,083	△75	+818
当社株主に帰属する 当期純損益	△270	△251	180	+987	△90	+736

為替レート前提

1US\$=	95円	10円高	95円	1円高	95円	6円高
1ユーロ=	125円	38円高	125円	4円高	125円	21円高

注1:当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです

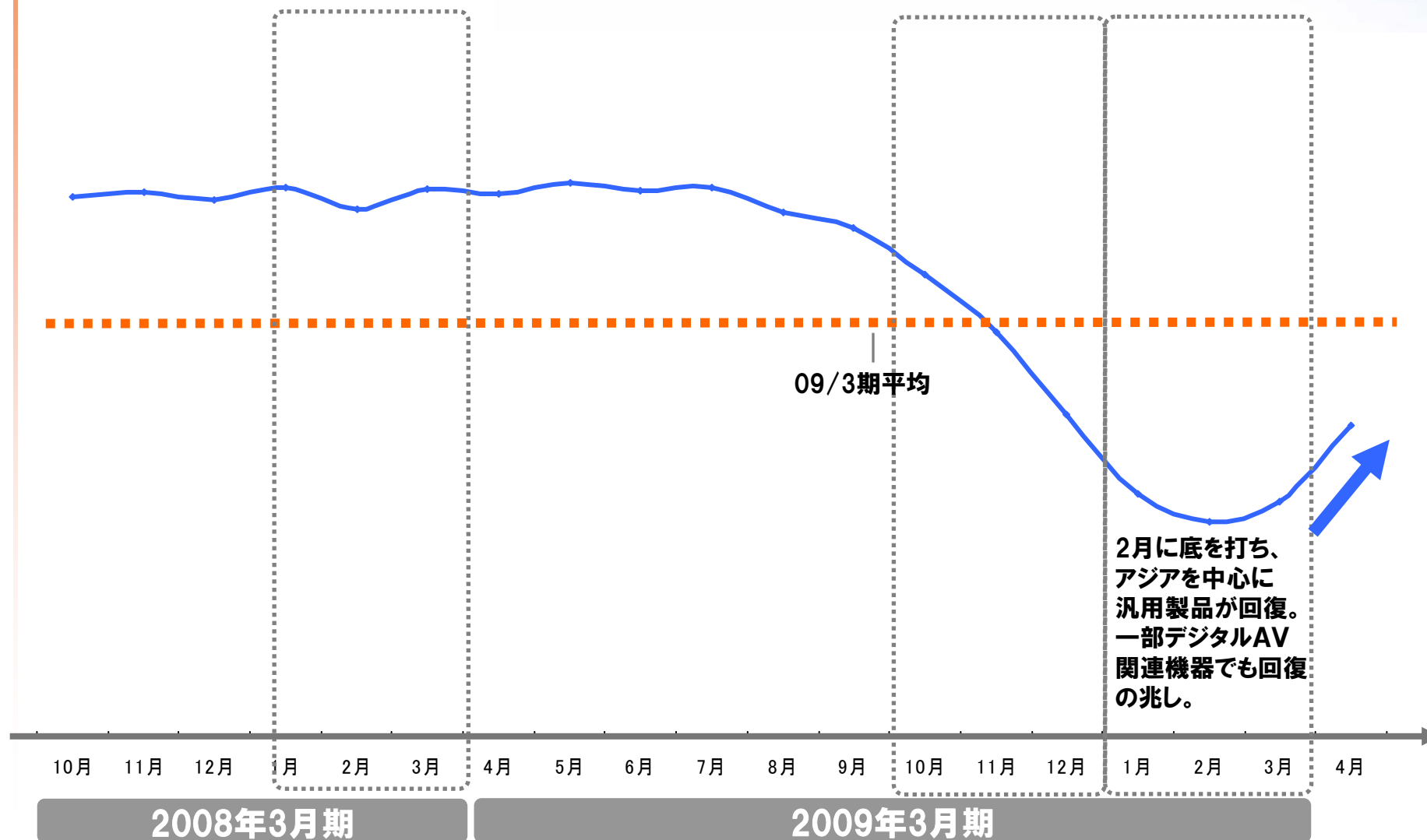
注2:「当社株主に帰属する当期純損益」は、2008年度までの「当期純損益」と同じ内容です(米国会計基準の変更によるもの)

注3:予想値は2009年5月11日現在

半導体受注高の推移

NEC

受注（3ヶ月移動平均）



10/3期 半導体売上高見込み

NEC

(単位:億円)

YoY $\Delta 12\%$

為替による売上減
約 $\Delta 150$ 億円

5,217

4,600

(1\$=101円、1ユーロ=146円)

(1\$=95円、1ユーロ=125円)

09/3期

10/3期見込み

SoC 約 $\Delta 5\%$

2,225

09/3期

10/3期見込み

コメント

・デジタルAV向けEMMAは
増収の見込み

MCU 約 $\Delta 10\%$

1,418

09/3期

10/3期見込み

コメント

・アジアを中心に汎用マイ
コンが回復
・各地域における政府取り
組み要因等もあり、自動
車市場の回復に期待

個別半導体 約 $\Delta 20\%$

1,574

09/3期

10/3期見込み

コメント

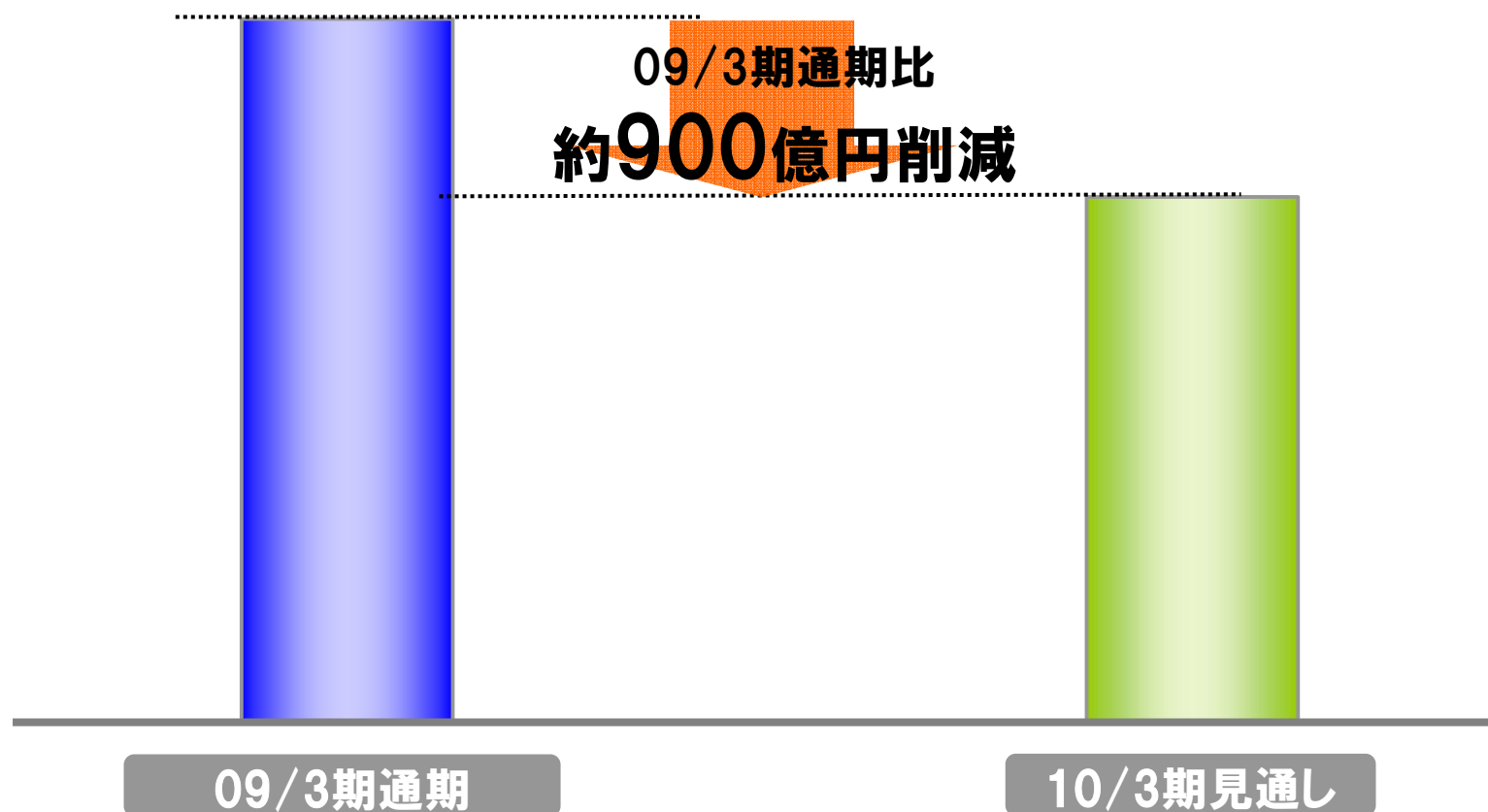
・全般的に市場並みの減収

10/3期 固定費削減計画

NEC

10/3期 固定費を約900億円削減
(1月発表時より約300億円の追加削減)

(09/3期上期の固定費の2倍から約1,000億円削減)



900億円固定費削減施策

NEC

■ 体質改善施策によるコスト効率化 約800億円

- **設備関連費用の効率化（約220億円）**
減価償却費・リース料、設備メンテナンス費用、用力費減など
- **その他生産関連費用の効率化（約300億円）**
国内外の人員減、時間外勤務減、派遣従業員減、業務委託費減など
- **研究開発関連費用の効率化（約200億円）**
開発品種の見直しによる外注費削減など
- **その他費用の効率化（約80億円）**

・生産ラインの閉鎖（08年末）
山形8インチ、相模原試作ライン

・生産減に伴う各種費用の効率化

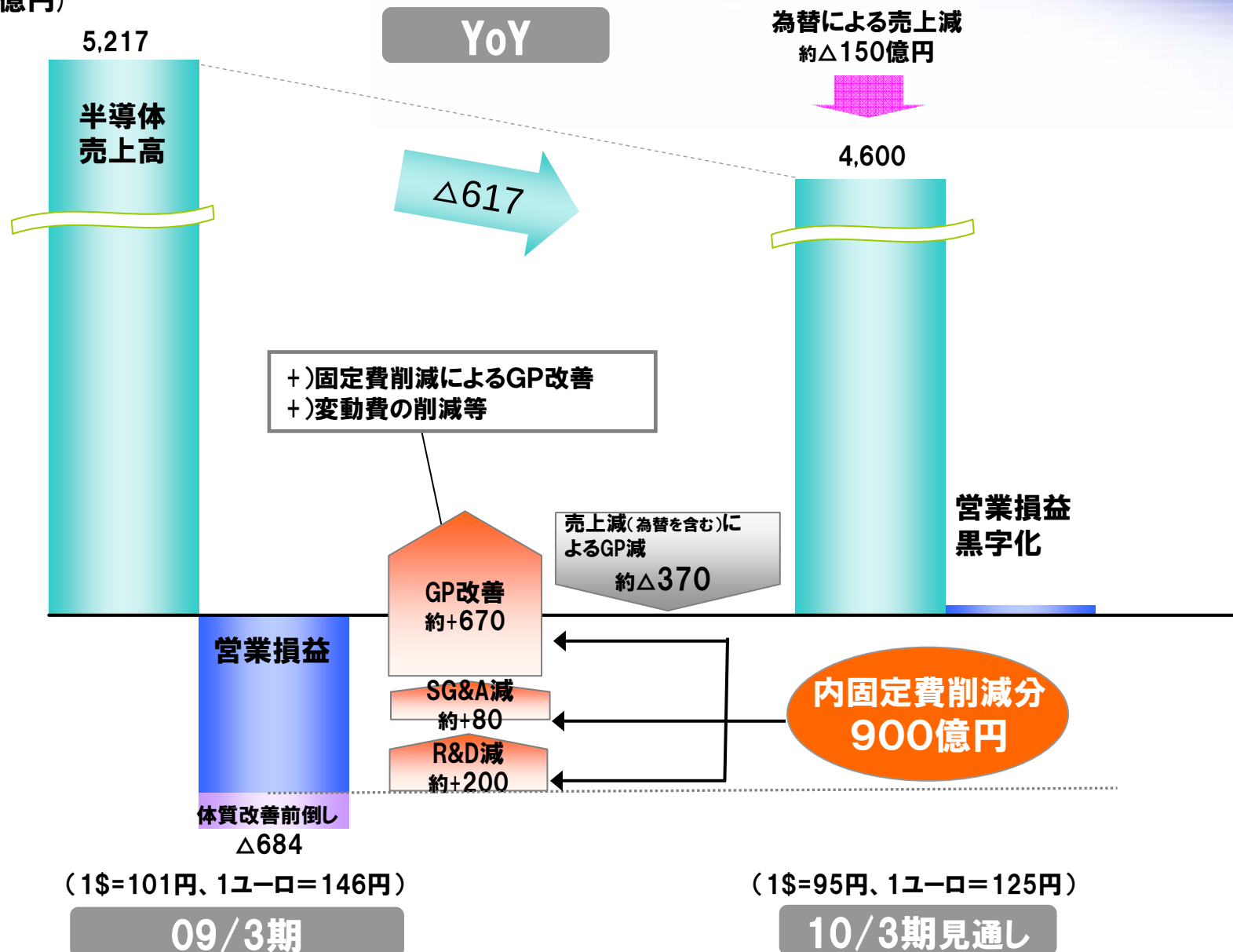
■ 緊急施策によるコスト削減 約100億円

- 人件費の削減（賞与減など）
- 全社緊急費用削減

10/3期 営業損益の主な増減要因

NEC

(単位：億円)



体質改善のための構造改革をさらに加速

- 1月発表時より固定費削減を増額、通期で約900億円の固定費削減を断行
- 今年度の営業黒字化を目指す

ルネサス テクノロジとの経営統合検討を進め
新たな成長と収益向上を目指す

NEC

NEC Electronics Corporation

（将来予測に関する注意）

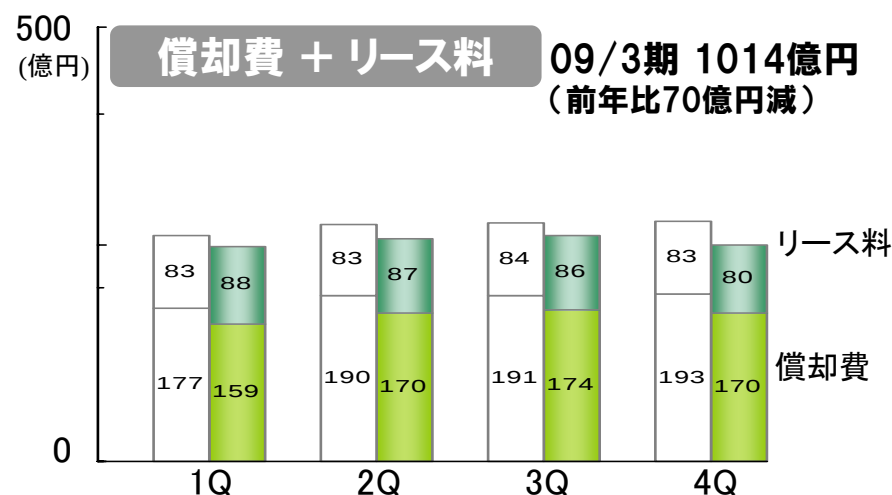
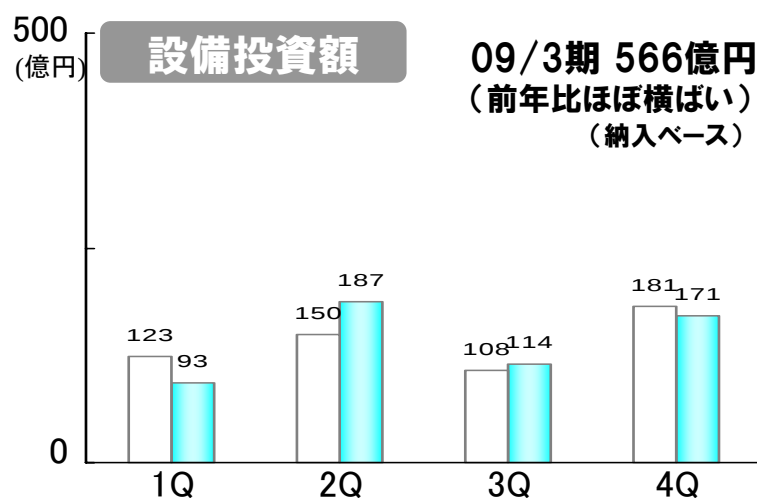
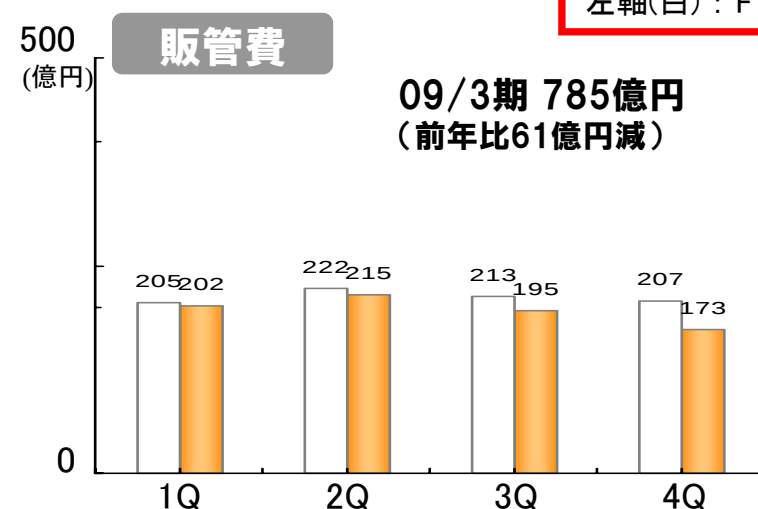
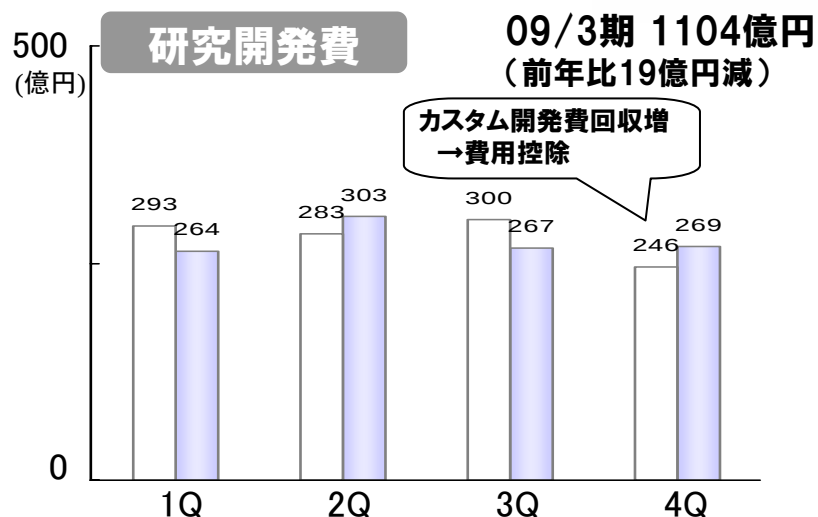
本資料に記載されている当社および連結子会社（以下NECエレクトロニクスと総称します。）の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、（１）NECエレクトロニクスの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、（２）市場におけるNECエレクトロニクスの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、（３）激しい競争にさらされた市場においてNECエレクトロニクスが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、（４）為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

補足資料

09/3期 営業費用・設備投資など

NEC

グラフの凡例
右軸(色)：FY09/3期
左軸(白)：FY08/3期



有形のみ

償却費・リース料は、原価・研究開発費・販売管理費に含まれます
償却費はキャッシュフロー表ベース

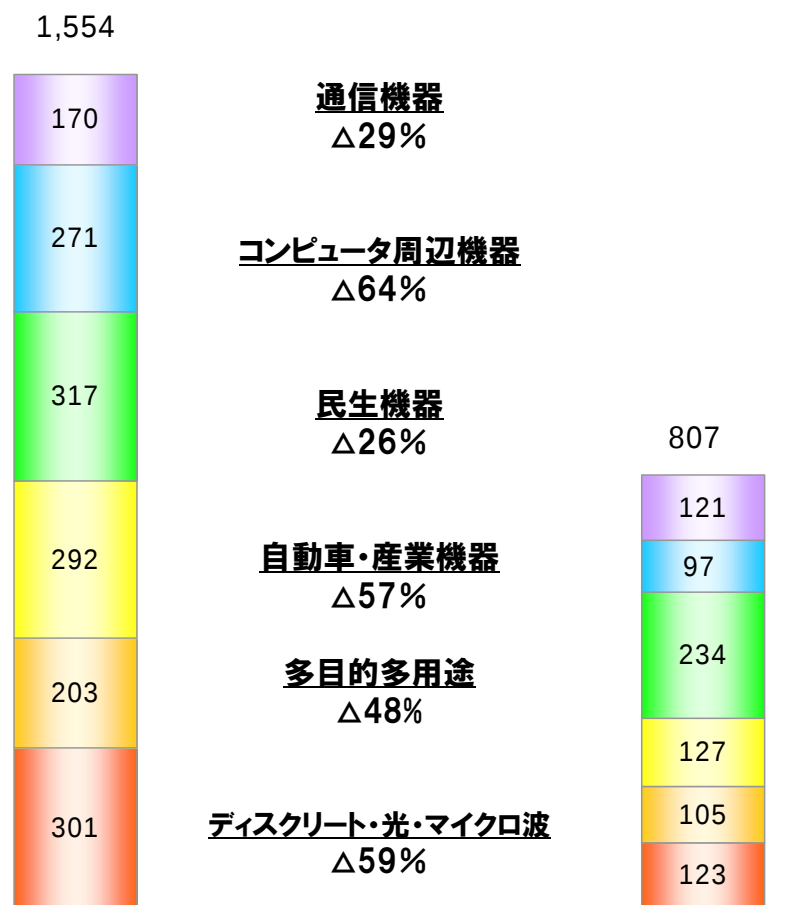
第4四半期 半導体売上高(分野別)

NEC

YoY Δ 48%

QoQ Δ 34%

(億円)

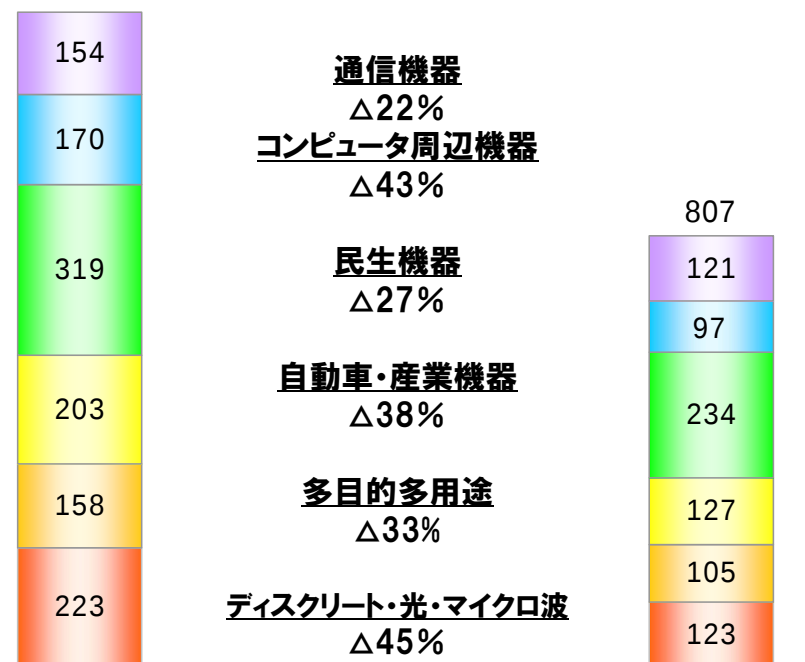


08/3期 第4四半期



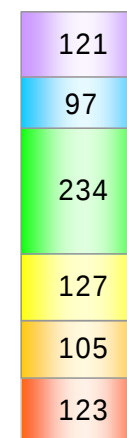
09/3期 第4四半期

1,227



09/3期 第3四半期

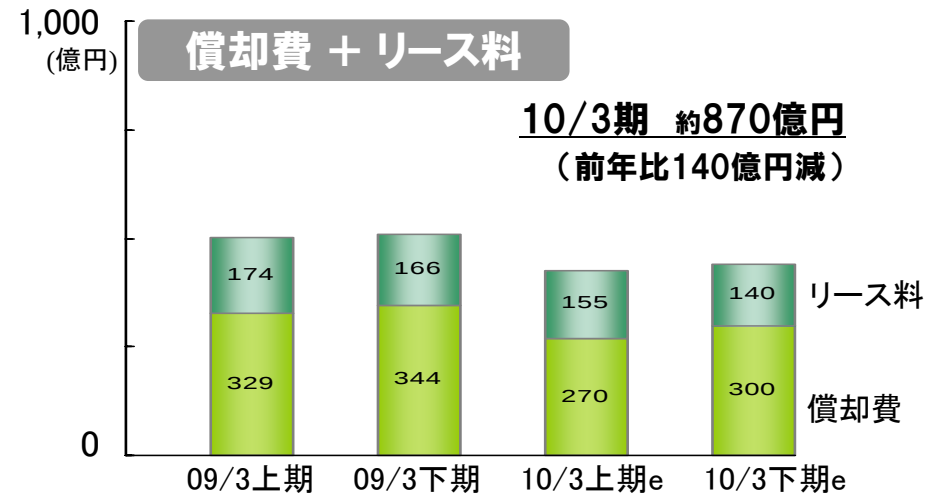
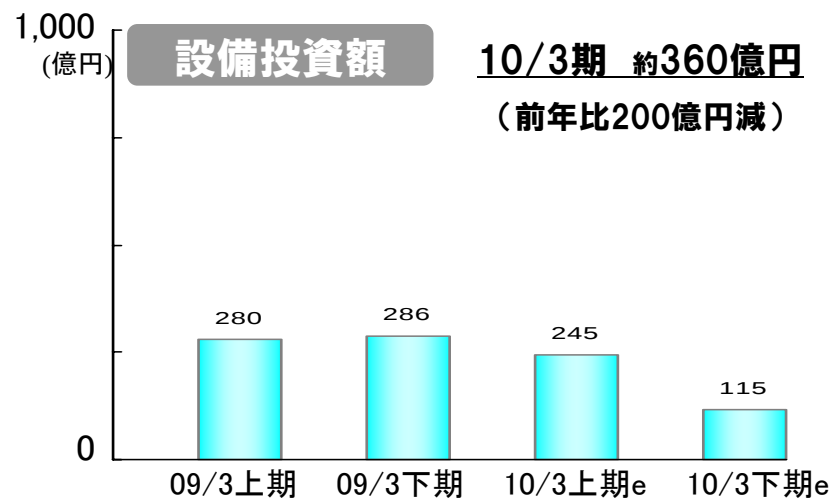
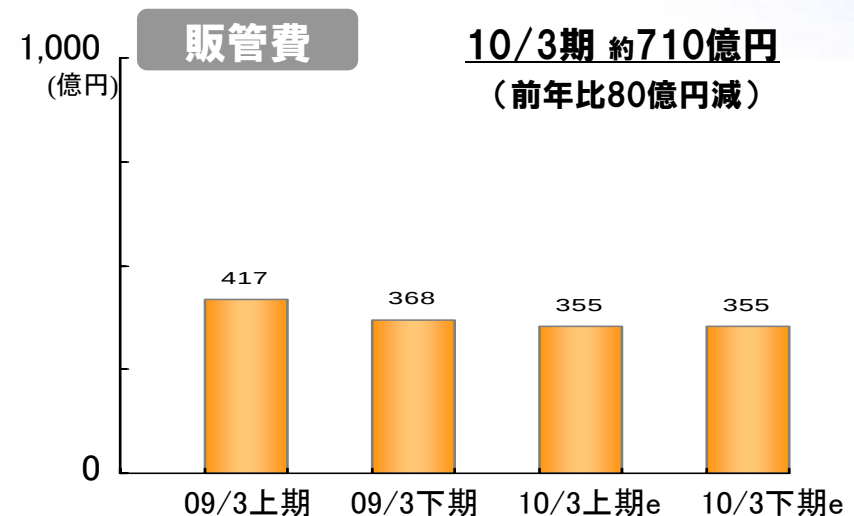
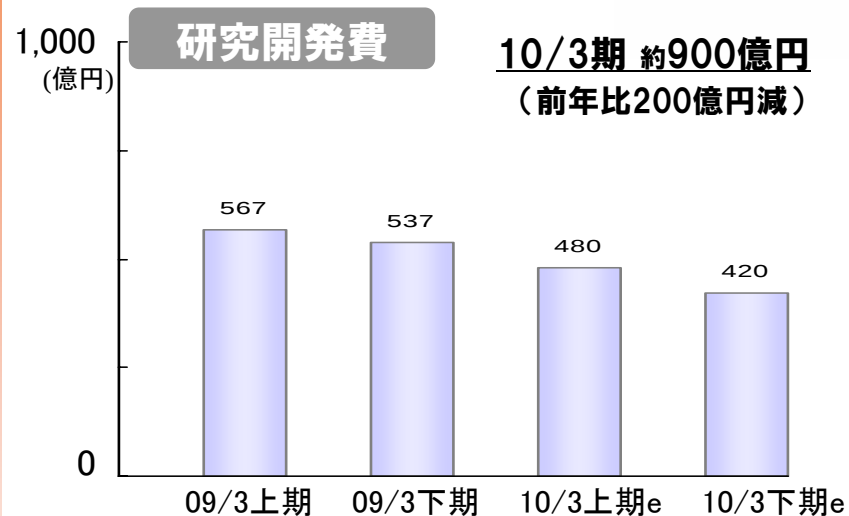
807



09/3期 第4四半期

10/3期 営業費用・設備投資等の前提

NEC



有形のみ

償却費・リース料は、原価・研究開発費・販売管理費に含まれます
償却費はキャッシュフロー表ベース

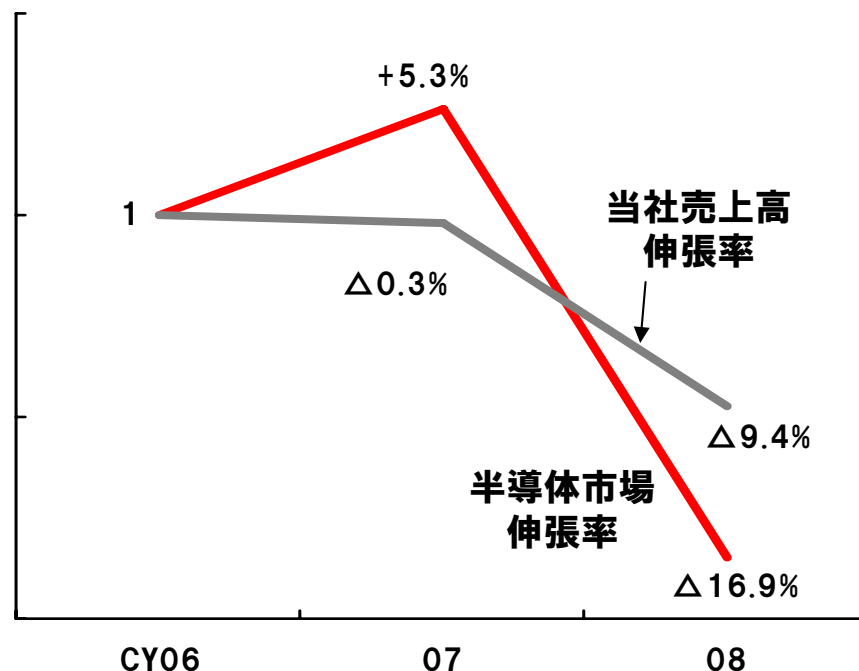
半導体市場における当社ポジション

NEC

当社は、CY08の市場平均より売上減を抑え、シェア拡大

市場伸張率と当社伸張率

※CY06を1とした場合



当社ランキング

CY06	CY07	CY08
		10位 NECエレ
12位 NECエレ	12位 NECエレ	

出典:ガートナー「Semiconductor Industry Worldwide Annual Market Share: Database」2008年4月2日、2009年4月2日

「2009 Semiconductor Forecast Worldwide: Forecast Database」2009年3月23日

NECエレクトロニクスによって円建てにて算出

免責条項

ここに述べられたガートナーのレポート(以下「ガートナーのレポート」)は、ガートナーのシンジケート購読サービスの一部として顧客向けに発行されたデータ、リサーチ・オピニオンもしくは視点を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーの各レポートは、レポート発行時点における見解であり、この目論見書／企業レポート発行時点のものではありません。またガートナーのレポートで述べられた意見は、事前の予告なしに変更されることがあります。

“ecoプロダクト”で売上成長を牽引

NEC

CO₂排出削減を実現する“ecoプロダクト”に経営資源を集中



自動車、デジタルコンシューマ、汎用マイコン
などの注力分野を活かす“ecoプロダクト”

主な製品群

低消費電力デバイス

エコマイコン、DRAM混載
ASICなど

省エネ製品に貢献する デバイス

エアコン用マイコン、自動車燃
費改善マイコン、システム電源、
モータドライバなど

